

心理コース

募集人員
50名

専門的な知識と技能を兼ね備えた「心理援助専門職」の育成。

心理コースでは、心理学の専門的な知識と技能を持ち、子どもや保護者、学校・地域を支援できる公認心理師や臨床心理士の心理援助専門職の養成を目指します。講義や実習においては、子どもへの専門的支援や家庭との連携のあり方の検討、そして学校領域における連携の実践に力を入れています。スクールカウンセラーをはじめとする教育、医療、福祉、司法、産業領域における対人援助職として、子どもたちの成長発達を促進し、学校・家庭・地域社会に貢献できる人材を育成したいと考えています。

4年間の学び

心理コースでは、厚労省の定める公認心理師養成のカリキュラムを基本軸として、実践的な授業を展開しています。2年生から本格的に「心理学実験」「臨床心理学概論」などの基礎理論を学びます。また、「司法・犯罪心理学」「社会・集団・家族心理学」、そして医学や精神医学の各論を学びます。3年生では「心理学統計法」などの研究法を習得し、卒業論文に備えます。本コースの特徴は「教育・学校心理学Ⅰ・Ⅱ」「学校と家族」などの教育支援に関する授業や、「心理的アセスメント」「心理演習」「心理実習」などの実習・演習の授業が多いことです。多くの学生は、大学院に進学し心理専門職を目指します。

特色ある授業・ゼミ紹介

「心理演習」45時間の授業ではロールプレイングや事例検討に取り組み、要心理支援者等に関する知識と技能の修得、理解とニーズの把握、支援計画の作成、多職種・地域連携、職業倫理等を体験的に学びます。例えば就学前の母子保健、学齢期の発達支援、ひきこもり支援等をテーマとしています。「心理実習」心理実習Ⅰでは保健医療等、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野における心理支援のあり方、および心理職や各施設の役割について事前学習を行います。実習先は医療領域以外も多く昨年度は6月から10月にかけて各人5~9か所で実習を行った。心理実習Ⅱでは実習施設での学びを踏まえ、心理職の役割、多職種連携や地域連携についての理解を深めています。

■ 2022年2年次前期の時間割(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	心理学実験Ⅰ		知覚・認知心理学		
2時限	心理学実験Ⅰ	人体の構造と機能及び疾病		心理的アセスメントⅡ	中国語Ⅱ
3時限	福祉心理学	心理学概論	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。		臨床心理学概論
4時限	英語コミュニケーションⅡ				
5時限		自由科目(外国語)			

*上記時間割で示した授業科目以外に2年前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基盤」や「外国人児童生徒支援教育」があります。

■ 主な授業科目

- | | | | |
|---------------|---------|------------|-----------|
| 〈1・2年〉 | ■心理学概論 | 〈4年生〉 | ■キャリアデザイン |
| ■心理学実験 | | ■産業・組織心理学 | |
| ■臨床心理学概論 | | ■認知行動療法論 | |
| ■心理的アセスメント | | ■教育・学校心理学Ⅱ | |
| ■人体の構造と機能及び疾病 | | | |
| ■精神医学 | | | |
| 〈3年生〉 | ■心理学統計法 | | |
| ■司法・犯罪心理学 | | | |
| ■社会・集団・家族心理学 | | | |
| ■心理演習 | | | |
| ■心理実習 | | | |

目指せる資格

- ◎公認心理師(国家資格)①+②または①+③の必要あり
①大学で指定の科目を履修
②大学院へ進学
③大学卒業後に厚生労働省が認定する特定の施設で2年以上の実務経験を積む

- ◎臨床心理士(民間資格)
卒業後、大学院進学の必要あり

先輩Voice



教育支援専門職養成課程
心理コース4年
岐阜県立関高等学校出身

公認心理師資格取得を目指す学生が多数。

人とのかかわり方の学びは、社会人としての必須スキルに。

公認心理師資格取得のため大学院進学を目指しているモチベーションの高い学生が多く、私自身も励みになります。心理実習で学校や病院、少年院などの現場を実際に見ることができるもの魅力です。私が特に関心の高い「司法・犯罪心理学」では、実際に刑務所や少年鑑別所などで働いていた先生から教えてもらえるため、刑務所などの様子や仕事について、実践的な学びが得られます。将来は心理職を目指していますが、ここで学んだ「かかわる人を理解しようとする姿勢」は、社会人として必要となることなのでこれからに生かしていきたいです。